

ココがポイント!

# ねんきん定期便を きっかけにした 自分年金づくりの提案法

丸山 浩 CFP®

50歳以上に送られるねんきん定期便には年金の見込額も記入されており、提案につながる好材料だ。そこで本稿では定期便でチェックすべきポイントを見るとともに、提案につなげるトーク例についても解説する。



## ねんきん定期便で チェックすべき項目

ここでは、50歳以上の方のねんきん定期便について、サンプル(図表1)と照らし合わせながら、チェックすべきポイントをみていこう。

### ① 老齢年金の見込額

まず押さえておくべきは、お客様が知りたい「何歳からいくらかもらえるか」である。

50歳未満のねんきん定期便には見込額の記載がないため、50歳以降も中身を見ていない方は多い。お客様には自身の見込額を把握しているか確認して提案を進めたい。定期便に表示されている年金の見込額は、60歳未満の場合、「現在の年金加入制度に60歳まで継続して加入したと仮定した年金見込額」である。

ポイントとなるそれぞれの金額は、サンプルの以下の箇所を確認できる。

A…65歳から支給される老齢年金額の総額(年額)。

B…65歳から支給される老齢基礎年金額(年額)。

C…会社員・公務員・私学共済加入者など分けて表示されているが、それらを合算したものが老齢厚生年金の見込額となる。

昭和36年3月31日以前に生まれた男性、昭和41年3月31日以前に生まれた女性については、65歳以前に特別支給の老齢厚生年金が支給される。

D…65歳以降の老齢年金総額を表示。金額はAと一致する。

年収や繰り下げた年金額等提案につながる情報を把握

続いて、お客様への提案につながるポイントについて見ていく。

### ② 給与・年収